Trusty Bell
トラスティベル
～ショパンの夢～
黒井みめい
Mimei Kuroi
原作:バンダイナムコゲームス
Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

黒井みめい
Mimei Kuroi

原作:バンダイナムコゲームス

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

黒井みめい mimei kuroi

原作：バンダイナムコゲームス

episode.1
003

episode.2
019

episode.3
035

episode.4
053

episode.5
071

episode.6
089

episode.7
107

episode.8
125

episode.9
143

last episode
161

c o n t e n t s

episode.1
ポルカ…本当に大丈夫？
ええ
無理はしないでいいのよ？
平気よ母さん
私…
一人でも多くの人に花封薬を使ってほしいの…

いってきます！

花封薬ー
テヌート村名産
花封薬は
いかがですかーっ
万病に効く
自然の恵み
ですーっ
あ…
あの…っ
花封薬は
いかが…
花封薬？

ダメダメ
ここは港町リタルダントだぜ?
薬なんてあふれてる！それに今は…
…鉱封薬があるじゃないか
鉱封薬……
そうとも
効きめは強いし伯爵様のお墨付きときた！
もう最近は花封薬なんて使うやつはいないよ
悪いねお嬢ちゃん
鉱封薬……か
花封薬…
やっぱり誰も買ってくれないや

ママーっ 待ってよー
ほら はやくなさい
わっ
う・・・
うわぁああ あぁあああッ
何だ どうした
あっちだっ
子供が 怪我を…
足が ひどく切れて ……っ
血がっ
誰か助けられる 奴はいないのか…!?

わあああぁ…
いたいっ
いたい
よぉお…っ
ああ…っ
誰か…っ
はやく
うちの子を助けてぇっ
ザワッ…
わ
私が…！
出血が酷いわ…
じっとしていて
すぐ…
治すから
ス…

ん
ギクン
わ…
な治った…!?
すげー…!!
ぴょこんっ
治った
治っちゃったぁ!!

にこー
すく…
お姉ちゃん
ありが…
魔法だっ
魔法だぞ
きゃあっ
魔法だと!?
怖い…
みんな逃げろ——っ
魔法を使う者がいるぞ——っ
ほらっはやく逃げるわよ
痛っ…
痛いよ母さんっ
ぐいっ
何でお姉ちゃんから逃げないといけないの!?
何でって…!!

魔法を使える者は病に侵されているのよ…！
近くにいたらあなたも病気がうつってしまうわ!!
さぁ 行くわよっ
あ…っ
チクン…
トクン…
トクン…

はぁ
遅く……なっちゃった…
はぁ…
……
はぁ
今日はやけにかごが重いな…
はっ
はぁっ
…だ！
魔法だ！
逃げるわよ
魔法を使える者は……
病に侵されているのよ…！

私は…
私は…！
はぁ
はぁ
まるで世界で一人ぼっちみたい……
ガッ
ひゃっ
きゃあぁっ
ドサッ

ザァ…
こんな所まで来ちゃったのね…

…私も
あなた達と
同じだわ
何!?
この匂い…!?
!
ひ…

ザオオ
オオオ

ペたん
――…危ないところでしたね…
あ…
…あなたは…？
私は…

私の名前はフレデリック・フランチシェク・ショパン…
ショパン…です
ショパン…

episode.2
こらーっ！
このパン泥棒！！
まーた
あんたたち
かいっ！！
よっ
ちょいと
ごめんよっ
今日こそ
逃がしゃ
しないよ
ごめんよーっと
ビート
まだ走れるか？
うん
兄ちゃん！

こら――
待ちなーっ
悪いが こっちも
待っている奴が
いるんで……

なっ!!
わぁッ
飛び(と)おりたぞーーっ
ぜぇ
ぜぇ
あぁもう！また逃げ(に)られちまったよ！
次(つぎ)は絶対(ぜったい)にこらしめてやらないと！
まぁほどほどにな
はぁ
はぁ、
はぁ
…ったく
はぁ…
何(なん)とか逃(に)げきれたね…兄(にい)ちゃん

ああ…なんとかだけどな
ビート お前ケガないか？
平気だよ
…けど あんなに追い回さなくたって…
地下水路で暮らすボクらにも少しくらいいわけてくれてもいいのに…
……
しょうがないさ
あっ
アレグ兄ちゃんが帰ってきたぁっ
ビート兄ちゃんもだ――!!
あっ!

ほらほらー
みんな並んでーっ
パンを
配るよーっ
わーい!
ん?
くいくい
いつも
ありがとう
お兄ちゃん
…ん
あー、
兄ちゃんだけじゃなくて
ボクだって
頑張ったんだからねーっ
うん!
ビート
お兄ちゃんも
ありがとう
なんか
おまけみたい…
あははははは
……っ
こんなこと…!

…良いわけがないじゃないか!
それに何だ最近の税率はまるで戦時下だ…
こんなことばっかりやってて俺は…
わっ
――よし!

兄ちゃん…そのフォルテ城ってとこあとどれくらいかかるの…?
さぁな…
ガサ
ガサ
ザク
ザク
5日か6日か…
途中に村があるはずだから花封薬を買っていこう
ガサ
ザッ
ザッ
…あれっ
あれは…
…人だ
ひそ…
何でこんな時間に…
…声かけてみる?
…いや

…様子をみよう
…そうするとショパンさんは
「パリ」という所からここまで来たんですか？
いえ…ポルカさんのいる この世界は
私の夢の中の世界なのです
え…？
私も信じられはしませんが…
わかるのです
ここは 私の世界

そうでなければ結核におかされた私がこんなに動けるわけがないのです…
?
あ…
とにかくこれは夢で…
ポルカさんだって私が想像の中で創りだした人物なのです
——だったら
私が今何を考えているか
わかりますか?

もう人前で魔法を使いたくないと考えていたのではありませんか?
誰しも傷つきたくはないですから…
……
ポゥ…
…あ
見てくださいショパンさん
パァァァ
花が咲いて光が…
アァ

この花は鏡天花というんですよ

まるで草原に星空を映したようでしょ？
――お兄様
エミ…リア…
この花は昼間は咲かないの太陽が高い間は葉から光を吸収して…
夜蓄えた光を放って咲くんです
――別名死灯花
死…？

闇夜でひっそりと光を放つ この花が
昔の人には死へ導く灯火に見えたのでしょうね…
この花は今でも忌み嫌われているわ
ポツリ…
まるで私のよう…
もう長くは生きられない私も…
忌み嫌われてきた…
でも…でも私は…！
チカッ
よい…しょっ！
ドス.

ぱっ!
やっぱり!
すごいやっ 何か光ってる!!
ばっか ビート! 様子をみるって言っただろっ
ホッ
男の子が二人…
すごいや これ…花?
ぜーんぶ 光ってるよーっ
パタ
パタパタ～
ずか
ずか
――ったく
あんまり はしゃぐな よ――っ
びくっ

お姉さん
この花はっ!?
あ…これは…
き 鏡天花って
いうの…
あぁ
これが
噂の…
……
キレー
だな…
よーっし!
写真撮って
おこーっと!
こら
ビート!
こういうものは
自分の目で
見ないと
勿体ねーよ
う〜〜ん
そーゆー
もんかなぁ
…お二人は
どうしてここに?
…ああ

俺はアレグレット
こいつビートと
一緒に
フォルテ城に
行くところだ
フォルテの王様に
「ぜいきん」っていうのを
なんとかしてもらう
ために行くんだ！
あぁ
フォルテ城って
ワルツ伯爵に
会いに行く
つもりなの？
俺達に
どれだけの事が
できるかは
わからないけど…
でも
できるだけの
ことはやって
おきたいんだ…！
！

フレデリック・フランチシェク・ショパン
1810年3月1日ワルシャワにて生を受ける
episode.3
若くして音楽的才能に恵まれ――
多くの愛される曲を書き綴ってきた
そして… 1849年10月16日
ショパンの生涯の幕が閉じる数時間前…
そう…私は夢の中にいた……
――俺たちにどれだけのことができるかわからないけど…

できるだけの ことは やって おきたいんだ…!
今の税金は 何から何まで 高すぎる
税金がかけられて いないのは 鉱封薬ぐらいだ
その鉱封薬 ですら 妙な噂が あるしな…

それは…
本当にあなたたちだけで
どうにかなる様な簡単な問題なのですか？
そ…っ
そんな単純でないことはわかってるさ！
でもっ動くことに価値があるんだよ!!
子供の考えですね
結果を得られない行動に…

自己満足以上の意味はありません
…経験だけは つんできた大人は こう言うしかない
たとえこれが夢の中の物語…
この子たちは私が創りだした人物だとしても…
あ
あの…
私の家に来ませんか…？

まあまあ
お客様がいっぱい…
旅だなんて大変ですね
こんなにたくさんのお客様は久しぶりだわ…！
すみません夜分に大勢で…
……
いいえ！にぎやかで楽しいですわ…
少し待っていてくださいね
今簡単な食事を用意しますから
えっ!!
に兄ちゃんいいのかな…

に
兄ちゃん
兄ちゃん!?
あ…あぁ
何だっけか…
大丈夫なの
兄ちゃん?
もう…
ハラ
へりすぎ??
お母さん…
私も
手伝う
あら
ありがとう
……
ありがとう
お母さん…
……

は―――…っ
コトン…
ごちそうさま！
おいしかった―っ
ありがとう
おばさん！
クスクス
どういたしまして…
すっ…
ポルカさん…？

お母さん
私ね…
アレグレットさんやビートくんに…ついていってもいいかな…
ううん
…ついていきたい！

お 俺は
かまわない
けど…
ぴょん
やった——っ
ポルカ姉ちゃんと
一緒だ——！
…なぜ？
ショパンさんに
会って
自分の気持ちが
確認できたんです…
私は
怯えて
いました…
世界に
人に
戦う
ことに
そして
触れる
ことに…
でも それは
自分だけで
変えられる
それなら
もう一歩
私は

二人の力になりたい…
それが良いと思えることなら…
その想いが無力だなんて思いたくは無い…！
これは私の夢の中…
なのにどうして
彼らはこんなにも一生懸命なんだ…

どうして――
ショパンさん
あのときのあなたの魔法は効きませんでしたね
私は…テヌート村を出ようと考えていたんです
ポルカ…
コツ…
あなたの家はここよ…
それは忘れないで
辛い思いもたくさんするかもしれないけど…

逃げ出すために
帰ってきては駄目よ…
まだ夜も明けないのに…
…あの子…うれしそうでしたわ
!

魔法が使える者は病におかされている…と
感染を恐れられ忌み嫌われてきたあの子には
あなた方の存在はあたたかく感じられたのかもしれません…
…あなたは寂しいのですね
マダムソルフェージュ…
…そうですわね
コッ…
…ポルカの病は
本当は人には感染らないのです

誰にも迷惑をかけないのであれば
私一人があの子の自由を挟められるものでは
──涙…
…ありませんものね…
彼女には愛してくれる母親がいるのですね…
ザザッ
ザザ
ザザッ
痛っ…
ズキッ
ザザザッ
だ 大丈夫かポルカ?
ええ…
がくん
よし少し休もう
……ごめんなさい
パチ
パチ

…自分で決めたことなのに…
いいんだよ…長く歩くのは慣れのモンだし…
そうそう
元気出してね!
…はいっ
少し多めにポルカ姉ちゃんの分!
……
ありがとう
——おやおや

子供がこんな所にいるとは…
光るアゴゴは見つかりませんでしたが
楽しいことになりそうですね…

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

ポルカ…
あなたは その小さな体には不釣り合いなほどの
運命を背負っているわ…
うんめー…？
もしかしたらこの世界を揺るがしかねない力かもしれない…
…？
ふふ
少し難しかったかな…
でもねポルカ…
あなたは…
…！！
え…なぁに…？

何て言ったの
お母さん…
お母さん…
episode. 4

はぁ
はぁ
はぁっ…
ピィチチ…
チチィ…
ふわ…
……!
おっ!
マーチ来るだべーっ
ぬっ

目を覚ましたみたいだべ！
まぁ
よかったですわー
同じ顔…
あ…えと…
私何か作ってきますねっ
おいおい無理は禁物だべ？
ぱたぱた…
痛ッ…

がしっ!
わ わわわっ
もー だから 無理すんなって 言ったべー!?
……ごめんなさい
…おまえ
そーゆー時は「ごめんなさい」じゃないべ?
「ありがとう」って言うんだべ!
んなシケた顔してちゃー
おまえもみんなも悲しくなるばっかりだべ!!
にっこり笑えない子は
このサルサが許さないべー!
わかったら大人しく マーチの作る飯を待つがいいべ!

あっ…
…あ
…ありがとう…
んだ!
おまえ 丸二日寝込んでたんだからなー
えっ…
んだからゆっくりしていけばいいべ
ぴょん
…ただ最近は物騒なんだべ
フォルテの兵隊が来るから
森のみんなも動物たちも怖がってるべ…
あの…ここはどこなのですか?

あぁ
ここは…
アゴゴの森だべー
アゴゴ…？
んー… 生き物だべ
強い力を持った…ね
はい ポルカさん
ありがとう…
アゴゴはちいさなまぁるい生き物で…
あまり姿は見せませんし人にも懐きません

でも最近はフォルテから来たワルツ伯爵の私兵が
勝手にアゴゴを捕らえていってしまうんです…
まったくー近所迷惑だべー！
フォルテの兵…
そうだ…
森で男の人に…！
あっ
ばっ
どうしたんですか!?
――ふ二人は…
あの…アレグレットとビート君はっ
よろ〜…
おっと

お二人なら大丈夫ですよ
ほ。。。
まき割りができるくらいだべな!
んだっ!
はははははッ
——ポルカさん
キイ。。。

ショパンさん…!?
彼が助けてくださったみたいですよ?
あ…
おっし!
外の二人も呼んでくるべ!
ぱたぱた
じゃあ私はお茶の用意を…
コツ…
……

あのっ
どうして…反対だったんでは…
あなたがこれからどうしていくのか…
それが気になりましてね…
ポルカッ
大丈夫か!?

アレグレット…
はぁ
どたどたどたっ
気分はどうだっ？
ケガ大丈夫か!?
起きてても平気なのか!?
…うん
大丈夫
…ありがとう
そか…
うひーまき割りでへとへとだよ〜〜〜
泊めてもらった分はちゃーんと働くべ！
へー…い
皆さんお茶にしましょう
——よし

世話になったな
助かりました
いえ…お気をつけてください
また寄るといいべ!
でも…ポルカさんは大丈夫ですか?
んだもう少し休んでいくべ…?
ええ…でも
私が辛いからといって…
休んではいられないの…
なぁ
あんたもついてくるのか?
いけませんか?
……

……
いや
じゃあね～っ
――っ
ありがとう！

ズルッ…
――くっ
あんの ガキ共っ…と…男!
覚えとけ…ッ
――ふん なんだ その格好は?
不様だな
チッ
ギィイイイ

ただいま
戻りました
ワルツ様…
――僕が
失敗の報告を
聞くのが
嫌いなことは…
知ってるよね…
フーガさん…？

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

さぁ…
報告してくれるかな
フーガさん？
――…
はっ…
それが…その…
はやくおっしゃった方がよろしいかと…

ワルツ様の御心に慈悲が残っている今がチャンスですぞ…
episode.5
——は…
伯爵の申しつけ通り光るアゴゴを探索しておりましたところ…

強力な魔法を使う男に遭遇しました…
ふむ
強い魔力…
けど それって
半死人に返り討ちにあった…ってこと？
そっ それは…!!
フッ…
もう下がっていいよ フーガさん
……っ
御意…

キィィィィ…
──ワルツ様
恐れながら…
うん
魔法が使えるとはいえ
死に近い人間が
フーガを圧倒するのは
気にかかる力です
光るアゴゴと共に
手元にそろえるのも
一興かと…
ぴく
……
ふ…
ふふふ
ふふふはは
面白そう
じゃないか

手に入れろ
利用できる物は一刻もはやくだ
はっ

えっと！
このぶんだと…
3、4日後にはフォルテ城まで行けると思うよ！
4日…
大丈夫ですかポルカさん
お疲れなら……
あっ平気ですっ
…ふふ
ショパンさんたらお父さんかお兄さんみたい
もう少し行くと小さな町があるみたいだからがんばろー！
これは…失敬
いいえ ありがとうございます！
……

俺は…
何の力がある？
俺には
何が
できる？
兄ちゃん…
!!

人か？
ア…
アレグレット
兄ちゃん!?
ぬ…
少年

いきなり
それは
無いだろう…？
こいつ…
いつのまに
剣を…
す…
すまない
ん
兄ちゃんっ

お おじさん 誰なの…！
ジャキ。
んー？
俺は…
いや せっかくだ 場所を変えるか
……？
俺はジルバ
色々と思う事があり 旅をして 見識を深めている ところだ

で お前さん達は どこへ行くつもり なんだ？
えぇと… フォルテ城まで です
ふうん…
……そういえば
そこでだ…
フォルテ領に行くには 通り道の カバサ大橋が 落ちていて渡れないぞ？
そ そんな…
それじゃ 進めない の——!?
よければ バロックに 来ないか？
バロックには 俺の古い友人がいて そこには船もあるんだ

ほんとっ!?
あぁ
ぱぁっ
ビート君…
バロックに行けばご飯も食べられる?
あぁ俺が頼んでやるさ
ふかふかのベットも?
もちろん!
うわぁ〜〜っ
いいな いいな! 行こうよ行こうよ〜
いいのかなぁ……
…まぁ今は留まるよりは進むほうがいいのかもしれませんが……
どう思いますかアレグレットさん?
……
アレグレット…
兄ちゃん…?
兄ちゃん!?
はっ

あ…うん
えっと…
いいんじゃないか？
ガタ。
大丈夫…
アレグレット？
あぁ…
少し ぼーっと
してただけだ
無理もない
疲れてる
だろうしな
今日は この酒場の
二階の宿に
泊まっていけばいい
……

は…
何なんだ
俺は……!!
はぁ
はっ
はぁ
はぁ

はぁあああぁ
ザギィィィン
……
はぁ
はぁっ
若き者の宿命…
……なのでしょうか
……
一人前のつもりで腰に剣を下げて

俺は何をしてるんだ！
く…っそ…
はぁ
はっ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～

さ
到着だ
ここ…
バロックのお城だよね…？
ああそうだ
待て！
何用か名を名乗れ
随分なごあいさつだな
アンダンテ自治区代表ジルバだが？
!!
し 失礼しました
あいよ
開門ッ

episode. 6

わぁ…
大きい…
立派なお城だ〜っ
ねぇジルバさん
ホントにここにお友だちがいるのぉ？
あったりまえだ
こちらでお待ちです
あぁ
コンコンコン
……
どうぞ
ガチャ
キィ…

やあ
久しぶりだな ジルバ
ああ 元気そうだな
セレナーデ姫も
ななんだか とても上流っぽい方々…
ジルバさんっ ボクたちも紹介してよーーっ

ああ 紹介するよ
この国の王子 クレッシェンドと
えーーーっ!?
ジルバさんのご友人って…
王子様だったのですね…
彼の婚約者 セレナーデ姫だ
旅人方よ ようこそ
疲れているだろう 食事の用意はさせておくが…
クレッシェンド 先に本題に入らせてもらいたい
ああ
どうぞ… おかけください
さ ポルカ
いきさつを話すといい
えっ
あの…? でも……
王子には隠さなくていいさ

子供達がみんなでフォルテ城に行くなんて
ただごとじゃないよな？
何かワルツ伯爵に直訴するつもりなんだろ？
……！
…そうなんです
私達…ワルツ伯爵にお願いをしようと思って…
クレッシェンド王子はフォルテと鉱封薬について
どうお考えですか…？
率直な意見をお求め…
だね？
はい

結論から言うと
反対です
フォルテのワルツ伯爵は若年ながらも
聡明でキレ者だ
だが それゆえに切り口の危うさがある…
政治的にも人間としても……
特に好戦的な彼の性格は戦を呼ぶ…
わが国の軍事力ではおいそれと異論は唱えられないのが現状だ…
このセレナーデはワルツ伯爵の近縁だが
彼の思惑ではこの世界は乱れるばかり…
ですが私が諭すのも彼の耳には届かず…

私は我が国での鉱封薬使用には断固反対です！
あれは悪魔の薬だ…
鉱封薬を常用すると人は理性なく好戦的な…
人ではない姿になってしまう…
あなた達はワルツ伯爵に何かを訴えるらしいが……
あまり良い結果は得られないだろう
それどころか…
……それでも
私達はワルツ伯爵と直にお話ししたいのです…
コツ
コツ
そうしないと花封薬は…
私のいた村は…

それに
鉱封薬だって
……そんな薬なら
なおさら
誰かが
訴えないと……!
だから
お願いします
私達に
助けを…!
おっおねがいします!!
おねがいします!!
……
なぁクレッシェンド
フォルテに
行くための橋が
今使えないんだ
そこで…
…まったく
リタルダント港まで
船を使い そこから
バロック特使用の
正規ルートを使って
向かうことが…
最良なんだが——…
ジルバも
ポルカさん達も
無茶が好きと
見える…

わっ…！
私にできる事ならば助力しよう！
私 手配するよう申しつけておきますわ
ああ
ぱたぱた
クレッシェンド王子さまっ！
ありがとうございますっ
ショパンさん
コツ.
ポルカさん…

わぁ…
きれいな城下町ですね…
ええ…
私の祖国ポーランドを思い出してしまいました
どんな街だったんですか？
そうですね…この街のようにたくさんの人が懸命に生きていました
けれど…戦火で多くの人が命を落としました…
だから少しでもこちらの世界ではそれを止めたいのかもしれませんね

私…
お礼を言いたかったんです
ショパンさんがいなければ
……私はここまで来ることはできなかったから…
だからありがとうございます
だが私は…この世界を空想だと言った
それでもお礼を言ってくれるのですか？
だって…！

ショパンさん アレグレットに ビート君…
サルサちゃんや マーチちゃん
それに ジルバさんや クレッシェンド王子と 出会えて…
それを何より ここにいる「私」が こんなにうれしく 思っているんです…！
…ポルカさんの ことを見守ったのは 私のエゴかも しれない…
あなたは 亡くなった私の 妹にそっくりだ…
見守るふりをして 寂しさを紛らわせて いるのかも…
それでも …いえ
それだって うれしいです！
私でも 人の お役に立って いる……

少しだけかもしれないですが…
昔の私から何か変われた気がするんです！

構ってもらいたいのか?
すっ
…そんな事じゃない…
ふい
——他人と己を比べ「彼の者の様にありたい」と思うのは良いが…
他人の持っているものをうらやんではいけない

自分の力を
信じてやるのも
そうでないのも
全部 己次第
ってこった
——!

Trusty Bell®
トラスティベル ~ショパンの夢~

手の空いている者は荷物を運べ――っ
わい
わい
ジルバさん大変そー
船長だものね
…と
しっかりな
アレグレット！

はいっ
episode.7
!

たっ
ポルカ
大丈夫か?
え?
いや その
初めてだろ
船とか…
船酔いとか…
してないか?
ビートは
平気そうだな
うんっ
ちゃんと
手伝い
するんだぞ
もっちろん!
わかってる
よっ!
おーい
アレグレット!
あはいっ

……あれなら大丈夫そうね…
やっぱ兄ちゃんはああじゃないと♪
そうね
うんっ
ん…？
せ船長っ
何だ
ふ…船が三隻こちらに向かって…
ザザ…
あれは…

ざわ
ざわ
フォルテの私掠船だ…
何なんですか…？
シリャク…？
国家から免許を得ている海賊のようなものだ
まぁ海軍と言っても差しつかえないかな…
さてどうするか…

お話しして
ワルツ伯爵の元まで
連れていって
もらえないかな…
んー…
お嬢ちゃん
世間はそんなに
単純には出来て
いないんだよ
残念ながらね
あっ…
まぁ
下手を打たないように
立ち回らないとな
それが
巧い生き方
ってやつだ
わっ
おおおおお
ダッ
ワルツ伯爵が
この男を所望ねェ…
くしゃ
フン

変なマネをしなければ命まではとらないっ
検疫を執り行うッ
船員はおとなしくそこに並びな!!
な…
しっ
どうやら予定にない急な出航らしいじゃないか
妙な動きをする輩も最近は増えていると聞くし…
コツ…
!

！
そこの男ッ!!
そこのガキ共もだ
気に入らないねぇ…
あの男が伯爵の望みか…！
一緒に来てもらうおうか
ついでに食糧も武器もありったけ頂く！
ちょっと待たないか…！

ジルバさん…っ
コツ…
…あーあ
大人しくしろって言ったのにね…

く…!!
見えないと思ったかい…!?
!!
ポルカっ…
わっ

ははっ
腕か足一本くらいなくなっても死にゃあしないだろっ

はぁ
はぁ
く…
わぁぁ
ぁあ…っ
!!

野郎共ッ 退却だ
は…っ
…やれやれ
素晴らしくあざやかな退却だな…
負傷者はいるか？
ジルバ この人と… あと数名が怪我人だ
みんな軽傷だが
私が…！
す…
えっ

な…治った…!
ざわっ
あの子魔法使いか…!
魔法…!
ポルカが魔法を…
よろしければ他の方も私に手当てさせてください…!
少しなら花封薬もありますし…
……
じゃあお願いするよ
あっ…はい!
俺も…
……

わーーっ 帰ってきたんだぁ
いい街だな

さて これからは 陸路だが どうする？
船旅の後だ 一旦どこかに 泊まって 休息と 荷造りをするのが いいと思うが…
ここ… アレグレットの 故郷よね…
……きれいな ところ…
…ああ…
じゃあ 一度 宿を 探そう
はーいっ
!?

Trusty Bell
トラスティベル ~ショパンの夢~

わぁあっ
何っ 何だ!?
ここの…
…ええと
アレグレット
ビート
よく見ろ…
…え?
ばっ
あ…
あーーっ!?

パ パン屋のおばさん…！
おやおや覚えてたのかい
じゃあパン泥棒のことだって忘れてないだろうね!?
episode.8
今日という今日は きっちり落とし前をつけてやるからね
ずん
ずん
逃げようったってホラ周りはみんなウチの味方だよ！
ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
あのこれは一体…
まぁおそらく…

生きるために少しやんちゃしてた…ってところじゃないか？
え…？
このふたりは毎日のようにパンを盗んで…!!
そうだよまったく！
そ それはっ……
ざわ
ざわ
何だいおチビさん
貧しいから仕方ないとでも言うのかい
いくら苦しくてもね人がルールを守らないと世の中成り立ちゃしないんだ
ポン
おいおい…その辺にしといてやれよ
けど…ちゃんと罰を与えないとおさまらないよ
罰なぁ…
そうさな

街外れのマンドリン教会があるだろう?
あそこにどうも魔物が棲みついているらしいんだよ
その魔物を退治できれば許してやる…てえのはどうだ?
おお そりゃいいい
どうなんだい お前たち!
コク…

おーっし決まりだな
どーなるかな
ムリじゃねえの～
ぞろ
まったく…ちゃんとやるんだよ!?
そ そんなあ
アレグレット大丈夫?
ああ…
魔物退治かあ…
──ま自分のまいた種は自分で何とかするんだな
ジルバさん…
俺……行ってくるよ
あ…
あの
えっと…ボ ボク…
地下水路にいる子供たちの様子っ見てくるよ
ビート君っ

アレグレット 私達も…
手伝いはいらないさ
じゃあ…
噴水前の宿で待ってるからな
…アレグレット

ポルカ…！
手伝いはいらないと言ったろ…？
でも…手伝いたいから…
……
仕方ないな…
！
……
魔物の声…？
まぁ大体大ネズミあたりだろう
心配ないさ
行こうか

コツ…
コツ…
コツ…
コツ…
コツ…

随分古い教会なのね…
昔はきれいだったのかしら…
俺…さ
さっきの騒ぎのとおり…
パンを盗ってたんだ
地下水路には俺やビートと同じ親のいない子が何人もいて…
パンだけじゃなくリンゴも 肉も何でも盗んだんだ

あいつらは喜んでくれた
…けれど
それが言い訳なのも
俺は知ってたんだ
だから何か行動を起こそうと
街を出たその日…
ポルカに会ったんだ

ポルカの村を出る決意は純粋で…
俺も同じだと思っていた
でも俺の決意は矛盾だらけな気がする…
そんな…
自分を責めるのはよくないわ
私はいつも…
聞いてくれ …ポルカ
俺はうらやんでいたんだ…

ポルカの優しさを
ショパンの冷静さを
ビートのまっすぐさを
ジルバの力強さを…
それに比べて
俺に何が出来る？
…で
でも神様は
皆に何かを
与えてくださって
いるはずよ…！
だったら…！
だったら何故
神はパンを
与えてくれない…！
……
ごめん…

…少し奥を見てくるよ
ジャリ…
——昔さ
清い心を持つ人は魔法を使える…って俺を育ててくれた神父が言ってた
…きっとポルカがそうなんだな
…魔法が使えるのは死ぬ間際だからよ…
——…そうかな
たとえそうだとしても

きっと俺には魔法は使えない
…っ
おっ…
この祭壇の隙間…
オオオ
………
…はは
やっぱりな
何だ…
タダの風鳴りだったのね…
ふふ…
よし ココを直して宿に行こうか
…うん!

!
——さて
俺が手伝えるのは
ここまでだ
……アレグレット
初めて会った時より
いい顔になったな
そうかな…
ああ
ポルカ
は
はいっ

うまくいくように願っているよ
はい!
じゃあ元気で
あぁ

Trusty Bell®
トラスティベル ~ショパンの夢~

バロックからの謁見を求める民がいる…と?
はっ…おそらく例の魔法を使う男の一行かと…
ですがワルツ様…
奴らにも何か企てがあるのかも…
――いや
いいだろう優先して通せ
その男さえ手に入ればいい

episode. 9.

むう！
この書状は…
本物なんだろうなぁ？
本物だよっ!!
確認してもらえばわかるはずだっ
コッ…
通しなさい
レ…
レガート様
しかし…
ワルツ伯爵様の特別な計らいで通せとのこと……
は…
はっ…
感謝せよ旅人達よ
こちらへ
あ…ああ…
コッ
コッ
コッ…
コッ…

この先が謁見の間…
──じゃが…
くれぐれも粗相のないように…
ギィ
──ようこそフォルテ城へ

！
あいつ…！
あの時アゴゴの森で……！
……
フォルテの兵だったのか……
ああ…
光るアゴゴを探しにいった時の小僧どもか……
・・光るアゴゴ…？
まぁあの時は…

しゅるっ
ただのアゴゴしか見つかりはしなかったが…
あれがアゴゴ…
!
捕まえるなんてひどいや…!
クックックッ
いやあ…
クッ
愉快だねぇ…
弱者が必死に憤るサマは
じつに愉快だ

な…
何だって…
な…っ ショパン！
ショパンさんっ
く…

ワルツ伯爵様っ
ショパンさんを放してくださいっ
残念… ボクは神じゃない
一方的に請われ求め願われてもそれは届かない…
おっと それは神も同じか
彼 魔法が使えるんだろう?
おもしろそうだからアゴゴといっしょに捕えておこうと思ってね…

貴様…っ
下がれッ
ポルカさん
きゃあっ
ポルカっ
アゴゴが…
光った…!
おお…!
これはこれは…!

ばっ
ポルカ大丈夫か
ポルカ姉ちゃん…
!
ば…
トプ
トプ…
馬鹿な…
鉱封薬をあんなに大量に…!
副作用で狂人になるのを知らないのか
じじ…
キィ
キッ
キ…
……そ
そんな…

アゴゴだって命があるのに殺さなくても…！
…ははは!!
光るアゴゴを入れれば…
理性を保ったまま強大な力をこの手にできる…！
私欲のためなら全てを踏み越えても良いとお思いか…！
おろかな…！
私欲？
…そうじゃない これで世界は更なる変革に臨めるのさ…
乾杯だ
ゴク
ゴク
ゴク…

カラン
…おお…
湧いてくるよ…
…力が…
はは…
ふふ…
素晴らしい……
これが…
この力こそ
ボクにふさわしい
全てを
蹂躙する力…ッ
アア…
チ…
カ…ラ…
が…!
!

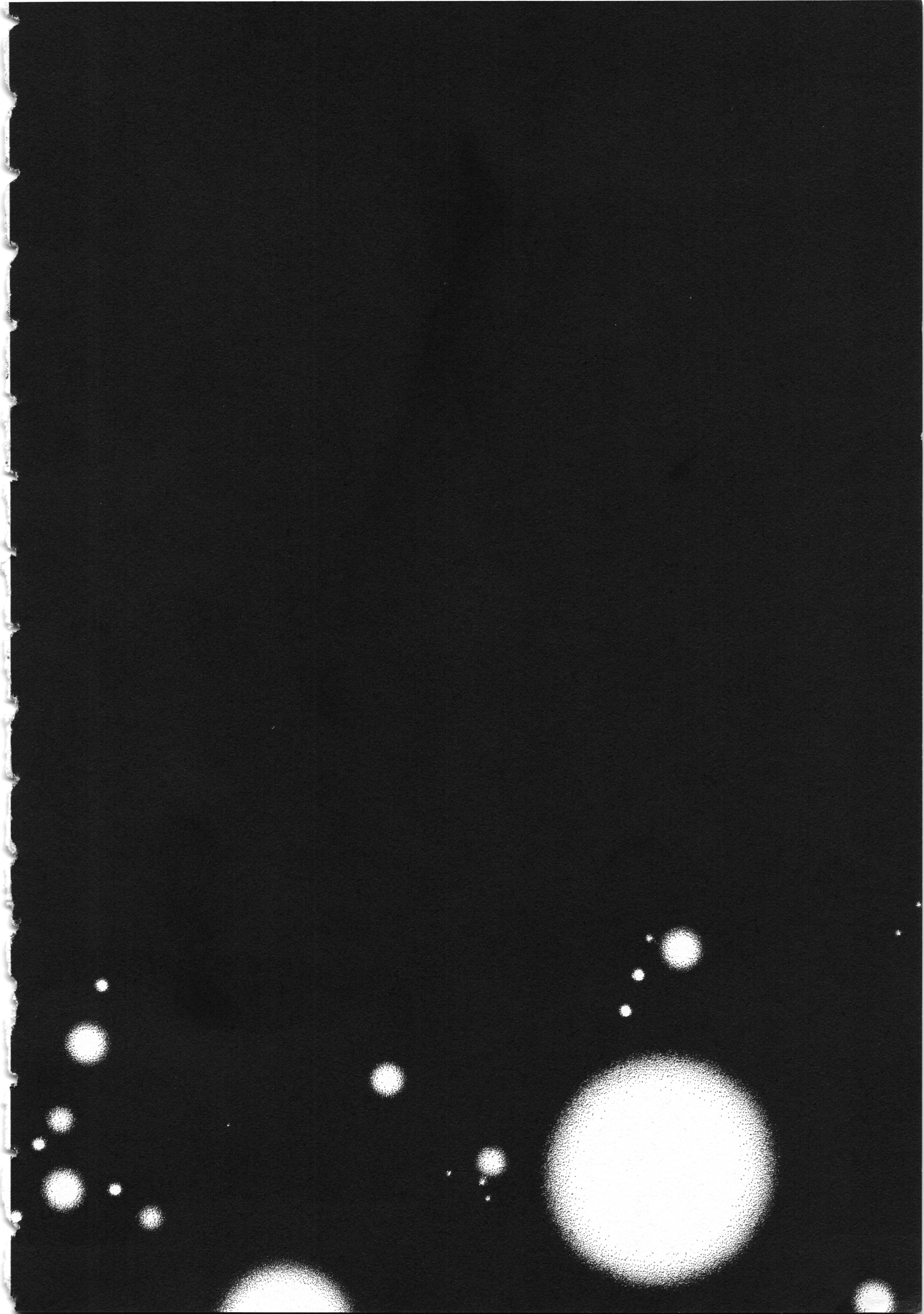
ボクにタテつくモノハ…モウイなイ…ッ
そう…神でさエ…モ……
モ…？
も…ヴ…ア……ヲ……ア？
ワ…ワルツ様…？
まずい…みんな逃げるんだッ
おかしくなっちまったか…！

ポルカさんっ
!
早く! 出来るだけ遠くに逃げるのです
でもワルツ伯爵は…
いいえ いけません ポルカさん…!
あの人たちはあなたを酷い目にあわせたのですよ…!

それは…
関係ない…！
私の力を
全て使っても…
彼を ワルツ伯爵を
救って…!!
ワルツの
動きが…
すごいや
ポルカ姉ちゃん…

！
はっ はっ …は
はぁっ…
はぁっ…
ポルカさん
もうやめて
ください…！
それ以上
力を使ったら
あなたは…
あなただって
不治の病
なのですよ…！
ゆらっ
不治の病
だからこそ…
ですよ…

Trusty Bell®
トラスティベル ～ショパンの夢～



はあ…
あっ…
last episode
もう少し…
!
あと少し…
ワルツ様…！
う…

……
良かった…
ポルカ…!!

ズキン…
ズキン…
ズキン…
ズキン…
ズキン…
ズキン…

は
はっ
はっ
……え?
は―……
はぁ―…
は―……
じわ…
は―――…
兄ちゃん…
兄ちゃんっ
アレグレット…!!
く……
ポルカ…
ポ…ルカ……
あ…あぁぁああ…!!
ポル…カッ
ポルカ…!!

魔法の光…！
兄ちゃんが…！
不治の病の人間にしか使えないのではなかったのか…！
シュオォ…
痛くない…
すっ…
息も…苦しくない…
どさっ

あっ…
アレグレット…？
や……そんな…！
ポル…カ
よかっ
今待って…魔法で…！
ばっ…
……!?
え…!?
どうして…どうして魔法が使えないの!?
やだ…届いて…届いてよっ…!!
いいんだ…
ポルカ…
それよりも無事だったんだな
よかった…
不治の病も消えた…のか…
な…
まさか…！

そんなの よくないよ…
アレグレットが 死んじゃう なんて…
だったらっ
――敗北感…
不治の病でも アレグレットの 傷を 癒せるほうが いいよ……!!
逃げられぬ運命…
…まいったな
悲しいこと… 言わないで くれ…よ…
死の満ちる…空気

ああ…
あの時と同じ…
この世界は私の心とつながっているのだな…
そう…これはただの戯曲だ私の人生をなぞった…
……だが
その舞台に立っているのは私なのだ…！

其の者よ
信じる者よ…
私は救うことを望む…！
私の心の光でもって…
彼の者達を照らせぬものか
この世界が私の想う世界なら…

彼は魂が霧散するべき人間ではない…！
さぁ奏でよ
心の輝きの調べを!!

ぱち
ん…
アレグレット…！
兄ちゃんっ

この世界は夢だ…
幾重もの音を紡ぐ
それが私を表現する
唯一と言ってもよい姿だ…
そう 夢だ…
さく…

ポルカもアレグレットも
ワルツ伯爵も私が知っているカタチだ…
だが夢でもかまわないではないか！

彼らがどう想い
動き感じるかは
夢であろうと
なかろうと関係ない…
もうじき
私は死ぬだろう…
だが
彼らは生きている

生きるべき人間のために死にゆく人間が何かをしてやれるなら……
それが出来るなら…
それほどうれしいことはない…
ああ…エミリア…
そうだ…あの花の名は鏡天花が良い…
そうだな…
—Fin—

Trusty Bell ～ショパンの夢～
お楽しみいただけたでしょうか。
初めて描くファンタジー作品ということで、
毎回資料や設定画を穴があくほど
見つめ、ショパンの生きた時代もてらしあわせて
ポルカたちは何を食べているのかな…とか
町の人はどんな生活をしているのかな…
なんて考えながら描きました。

読者の皆様にもそんな不思議な
魅力を持つTrusty Bellの世界に
思いを馳せつつ、また幾度も読んで
いただければこの上ない幸せです。

2008. 黒井みめい

Special Thanks

シナリオ ★ 稀周悠希さん
担当 ★ 小林さま
背景協力 ★ 秋夜さんまさん
デザイン ★ シイバさん

浜田ゆかりさん
川端麻夕さん
宮永貴子さん

そして…読者の皆様

本当にありがとうございます!!

★PS3版で出てくるお洋服を描いてみました

DENGEKI COMICS

トラスティベル
〜ショパンの夢〜

2008年9月27日　初版発行

作画 ———— 黒井みめい
原作 ———— 株式会社バンダイナムコゲームス

発行者 ———— 髙野 潔
発行所 ———— 株式会社アスキー・メディアワークス
〒160-8326 東京都新宿区西新宿 4-34-7
電話 03-6866-7328（編集）
発売元 ———— 株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3
電話 03-3238-8605（営業）
カバー・本文デザイン— シイバミツヲ（伸童舎）
装丁 ———— 朝倉哲也 (design CREST)
印刷・製本 ———— 図書印刷株式会社

©2008 Mimei Kuroi　©NBGI　Printed in Japan

本書は、法令に定めのある場合を除き、複製・複写することはできません。
落丁・乱丁本はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して、
株式会社アスキー・メディアワークス生産管理部あてにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。
但し、古書店で本書を購入されている場合はお取り替えできません。
定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-04-867318-1　C9979

初出 Side-BN　2007年10月号〜2008年7月号

9784048673181
1929979005702
ISBN978-4-04-867318-1
C9979 ¥570E
ASCII MEDIA WORKS
発行●アスキー・メディアワークス
定価：本体570円 ※消費税が別に加算されます
雑誌 49060-44
©NBGI